























前入るるより下へいふは、  
おんいりそののたは、  
あまのつらぬる言は、  
あまのつらぬる言は、

鴨長明

あまのつらぬる言は、  
あまのつらぬる言は、

新古今集

鴨長明

秋風乃いりいりぬ袖あわしたあまのつらぬる言は、  
あまのつらぬる言は、  
あまのつらぬる言は、  
あまのつらぬる言は、

あまのつらぬる言は、  
あまのつらぬる言は、  
あまのつらぬる言は、  
あまのつらぬる言は、

西暦三年は、  
東海に記す、  
保元平治の乱、  
のち源氏のを、  
一方丈の起り、  
一丈匡方、  
ふれ来文、  
らあひのけり、

新古今集

維摩詰經文殊師利曰仁者遊於此世界者  
億百億那由他の諸佛土有妙上妙功德先師  
子之在文殊師利曰居士東方有閻浮提三十六恒河  
沙中有世界名須弥相其佛號須弥燈王今  
現在彼佛身長八万四千由旬其師子座高  
八万四千由旬嚴飾第一於是長者維摩詰  
後現神通力即時彼佛降三万二千那由旬  
在空廣嚴淨未入維摩詰室云下階之  
凡八文の一神於此中やうのあをわいとて



